
月夜の怪盗

木内 翼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月夜の怪盗

【Nコード】

N8441H

【作者名】

木内 翼

【あらすじ】

——満月の夜にだけ現れる、怪盗シャイン。誰一人、彼女を捕まえることは出来なかった。中世風恋愛ファンタジー！

プロローグ（前書き）

少しですが、流血表現入ります。苦手な方はお控え下さい。（途中、シリアスなども入ります）一応、中世風恋愛ファンタジーを予定しています！ 更新ペース遅いです……頑張ります！

プロローグ

——月の、綺麗な夜だった。

『お姉ちゃん？』

私を抱きしめたまま動かない姉に、恐る恐る呼び掛ける。

『ねえ。お姉ちゃ……』

姉の頭の下に、どんどん広がっていく、黒いシミ。

地面に染み込みながらも大きく拡大していくソレは、月の光に照らされて私の目の前まで、来た。

——コレは、何だろう？

子供特有の好奇心に駆られ、そうっと手を伸ばす。

ぬるり、と指先に伝わってきた生温かい感触。

その瞬間——ゾッ、と背筋が瞬く間に粟立った。

『……お、お姉ちゃん？』 起きて、と小さな腕で懸命に揺さぶるが、ピクリともしない。

——ふと、自分の肩が湿っている事に気がついた。

つ、と焦れる様な緩慢な動きで視線を移す。

『——あ』

そこ——姉の胸には大きく、長い剣が。

『ああああああああッ！！』

深々と、突き刺さっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8441h/>

月夜の怪盗

2010年10月9日06時08分発行